

なりきりマーケッター

第2回：その広告の先に何があるのか？

私の父の名は、今井進。私の名は、今井進太郎。私の息子の名は、今井悠太郎。「親バカ連鎖は続くよ、どこまでも…」そんな今井家ですが、私が高校まで野球をやっていたこともあり、小学1年生の息子には、野球をやってほしいと思っていました。なんとか、野球に興味を持ってもらい、野球をやるように仕向けることはできないだろうか…と勝手な親心で、プロ野球や高校野球をTVで見せたり、逆にサッカーはなるべく見せないようにしたり…(サッカーファンの皆さん、すみません！)

ある日、我が家に置いてあった「トキっ子ラウンジ」(当社で運営するにいがた子育て応援団「トキっ子くらぶ」の無料情報誌です)を見ていた妻が、アルピレックスの野球スクールの記事を見つけ、「この野球スクールいいと思わない？小学1年生から入れるクラスが開校されたみたいだよ。」とつぶやきました。早速、無料体験スクールに参加した悠太郎。とても楽しかったようで、「ぼくプロ野球選手になりたい!」と目を見輝かせて帰ってきました。そして、もちろん即入会。今のところ毎週のレッスンを楽しみにしながら、週末は私と一緒に野球の練習をしています。

私は野球は下手くそでしたが、野球を通じて多くの仲間に出会い、多くの学びを得て、野球のお蔭で自分自身成長することができました。悠太郎がどこまで野球を続けるかわかりませんが、息子が野球との出会いで成長し、よりよい人生を歩んでくれたらと思います。

悠太郎が野球を始めるきっかけを作ってくれたこの



今井進太郎 Imai, Shintaro
グローバルマーケティング(株)代表取締役。1979年長岡市生まれ。県内企業の販売・営業活動の支援を行っている。「新潟マーケティング大学」を主宰。にいがた子育て応援団「トキっ子くらぶ」を展開中。

記事。記事広告と呼ばれるもので、トキっ子くらぶで広告料をいただき掲載をしたものです。一般的に「広告」というと、企業の売り込みといったイメージが強いですが、私は広告が人の人生を変えることもあると思います。広告だけではありません。世の中の商品・サービスには、人の人生を変える力があります。保険商品で人生が救われた人もいでしょうし、英語教材で自分のキャリアが開けた人もいでしょう。着物やドレスを買い、結果人生の伴侶と結ばれた人もいでしょう。

だから私はマーケティングの仕事が大好きです。その広告の先に何があるのか？その広告が人の人生をどう変えるのか？商品・サービスでどう人を幸せにして、社会を豊かにしていくのか？

「広告、商品・サービスの先にあるもの」を常に意識しながら仕事に取り組みたいですね。



故郷の完全試合男「今井雄太郎」に続けと日々練習中